



授業サポート報告書④

実施日:2021年 6月29日(水)1時限目(9:00~10:30)

授業科目:国際協力・開発イノベーション論(担当教員:谷治 和文)

「国際協力・開発イノベーション論」は社会イノベーション学部の2~4年生を対象に開講されている専門科目です。通年科目であり、前半では国際協力・開発の概要、SDGs等の基礎知識を学び、学生が自ら問題点を考え、解決策を検討できるようになる、後半ではグリーンイノベーション、BoP、知的財産イノベーション戦略に関する基礎知識を理解し身につけ、国際協力・開発イノベーション戦略を知的財産戦略の活用を交えて検討できるレベルまで到達することを目標としています。

通常はオンデマンド型授業ですが、Zoomを用いたリアルタイム授業が行われた6月29日と7月6日に、ピアサポーター6名が授業サポートにあたりました。

主な取材は6月29日に行いましたが、7月6日の様子もあわせてご報告します。

6月29日は、今までオンデマンドで授業を受けていた受講生たちが初めて顔をあわせ、ランダムに分けられたグループでディスカッションを行いました。受講者は約70名で、6~7人の10グループが作られ、全員が議長・書記・発表者・評価担当者いずれかの役割を必ず担います。下記課題は資料の一部として事前に受講生に提示されており、課題1~4をディスカッションし、特に3・4については意見をまとめ、次週までに発表資料を作成します。次の7月6日の授業では発表と評価を行い、各グループがランキングされます。

先生とピアサポーターは、事前に何度か打ち合わせを行い、当日の授業の流れや課題の詳細について、グループワークでのピアサポーターの動きを綿密に話し合いました。

【課題】

1. グループ名を考えてくること。名前を付けた理由も考えること。(他のグループに、グループ名の点数をつけてもらいます)
 2. 自己紹介も考えてきてください。(6月29日はディスカッション前に自己紹介をします)
 3. 来年2022年度の日本のODAを減少させるべきか、横ばい(現状維持)にすべきか、増加させるべきかを述べよ。また、その理由を述べよ。
 4. 増加・減少させる場合は、ODAのどの予算を増加・減少させるべきかを述べよ。①有償資金(円借款)、②海外投融資(民間セクタ)、③技術協力、④無償資金協力から検討せよ。また、その理由も述べよ。
- 横ばい(現状維持)の場合でも、①~④の内訳を変更するべきなのか否かを述べよ。また、その理由も述べよ。

先生からはODA(政府開発援助)についてのミニレクチャーもあり、具体的に授業の展開をイメージし、シミュレーションを行いながら事前準備をすることができました。

当日は、まずは自己紹介、役割決定、グループ名の決定を行い、ディスカッションへと進みます。限られた時間の中スムーズにチームビルディングからディスカッションへと移行し、またディスカッションでは時間の割り振り、発表時のポイントや客観的なアドバイスをしたり、グループの様子を見ながら意見の交換を促したりと、さまざまな面でのサポートを行いました。

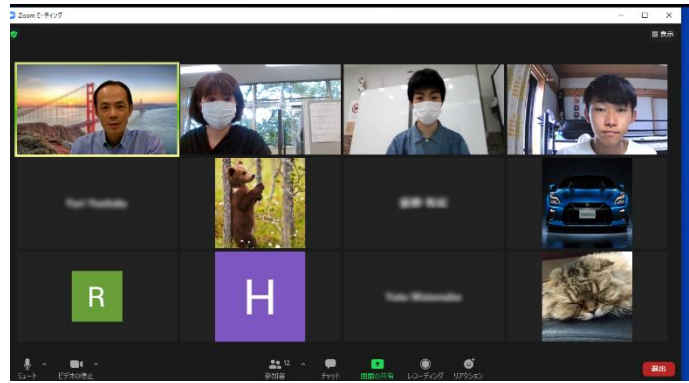
7月6日の発表では、前日までに仕上げた資料を元に各グループの発表が行われました。各グループ1週間という短い期間で、PowerPoint資料は見やすくわかりやすく、また見る側の目を引く魅力的なものを作り上げていました。また、課題3・4に関しても、根拠まで示した理由を述べており、それぞれの意見を自分たちで納得いくまで考えてまとめ上げたことがよくわかる発表でした。

全体での発表が終わった後、再度グループに分かれGoogleフォームのアンケート機能を使用し、評価を授業時間内に完成させ提出します。ピアサポーターは、評価担当者がグループ全員と相談して意見をまとめているかを適宜確認し、進行了しました。

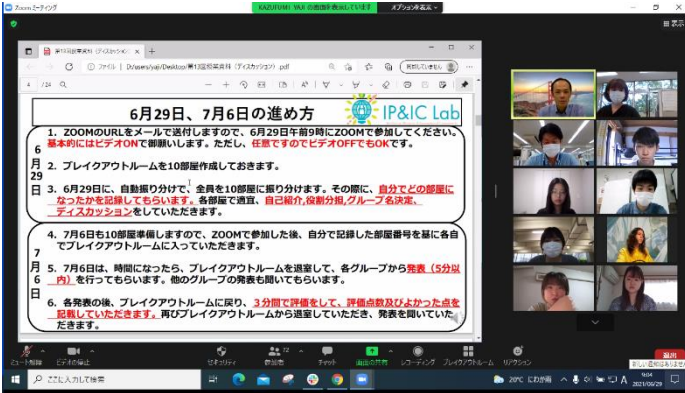
谷治先生は、オンデマンド授業であっても、今顕著に少なくなっている学生同士の交流の場を設けたい、というお考えで今回リアルタイム授業でのグループディスカッションを実施しました。ピアサポーターは、グループワークに大切な要素や先生側の工夫を学びながらサポートにあたれました。

各グループの発表に関しては、後日オンデマンドで評価の結果発表がありました。実際に自分たちが作り上げた発表の結果という事もあり、受講生もより興味深く視聴したと思われます。オンデマンド授業であっても学生が主体的に取り組める授業を、という先生の熱意が全体に伝わった非常に活発で有意義な授業のサポートをすることで、サポーター自身も学びや気づきが多い場となりました。

当日の様子



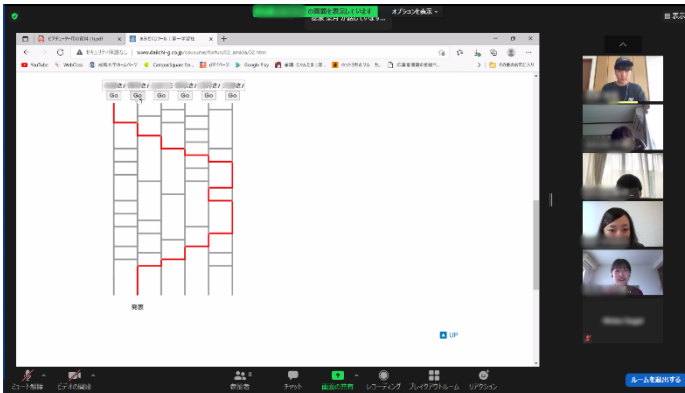
ピアサポーターは5分前にZoomに参加し、先生と待機します
(画面左上は谷治先生)



先生の丁寧な資料を確認しながら、今週・次週の進め方を聞きます



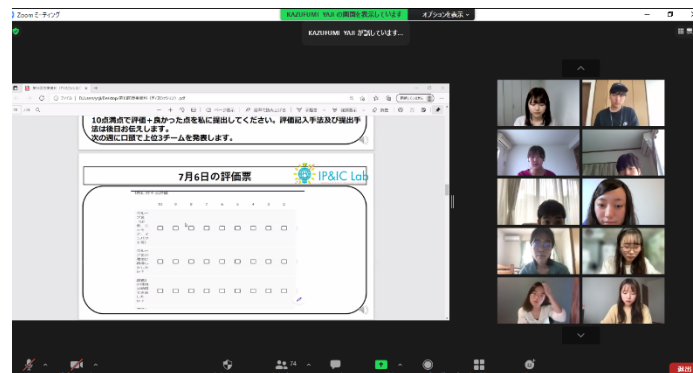
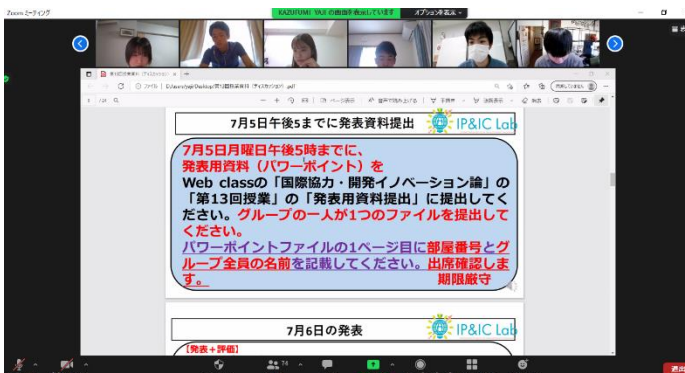
グループに分かれての自己紹介・役割決定まではピアサポーターが進行します



あみだくじツールを用意しておいたピアサポーター。
役割決定に活用しました！



ディスカッションが滞らない様、グループでの疑問点・確認事項は
都度ピアサポーターが回答します



次回の発表に向けてや評価について全員で認識を共有し、取材当日の授業は終了しました